米・英打倒の「婦人大會」　廿七日府民館で開く　　臨戰報國團主催[[1]](#footnote-1)

“米英軍”を所にするが無皇利の報に半の國はいよいよ火をいて米の精神を基に時下生活新動及び動力の人大會が朝報國主の下に廿七日午後一時から大で開される、また同日午後六時から同において家より一の『人決大説會』を行ふことになつたが、一般は女子に限る（し員はこの限りに非ず）なほ講師は次の通り

香山光郎、松村紘一、安興晟煥、任淑宰、朴順大、金活蘭、高鳳京、毛允淑、崔貞熙の諸氏

1. 『京城日報』1941年12月20日 [↑](#footnote-ref-1)